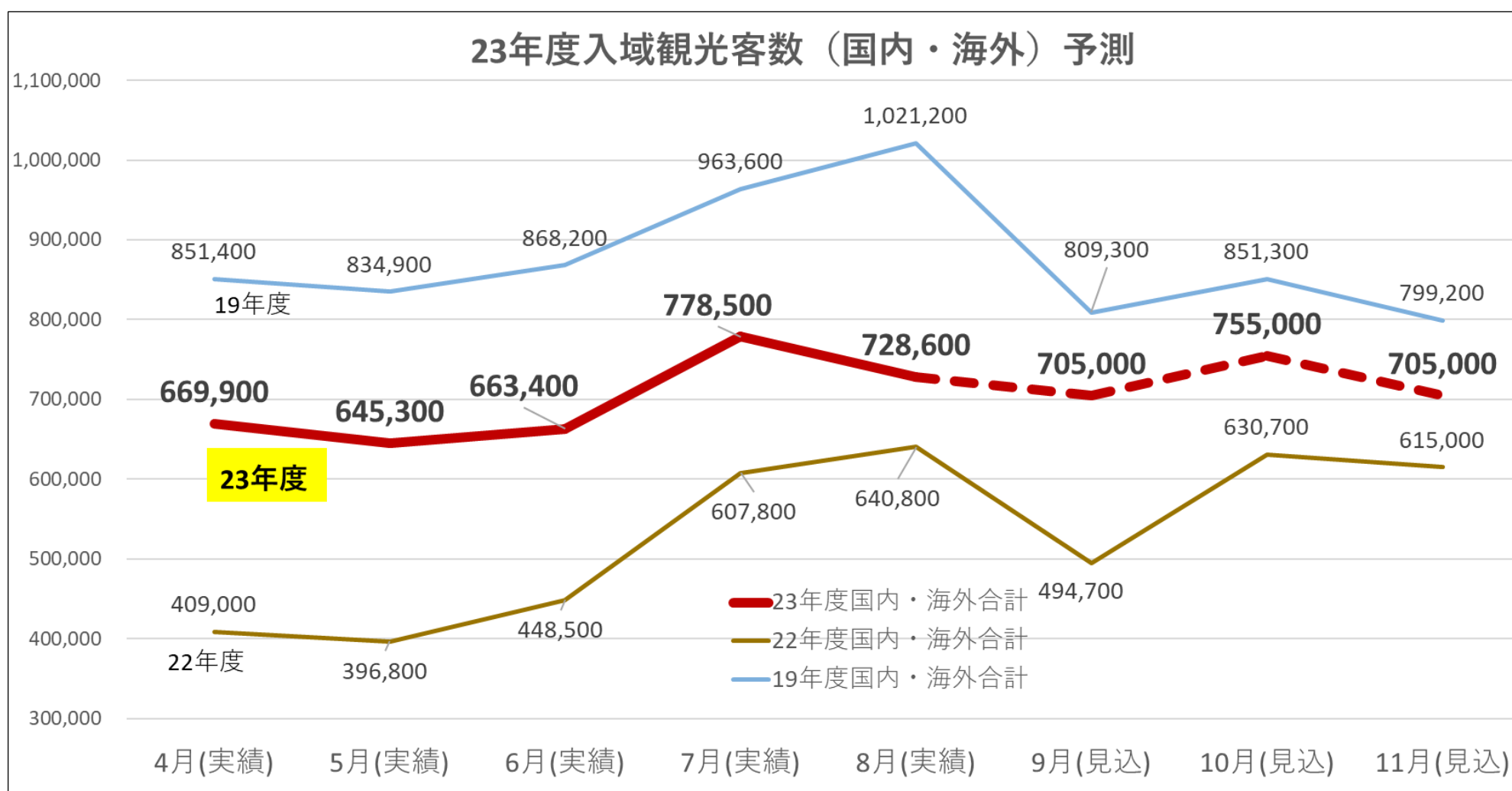


## 1. 入域観光客数9月-11月見通しについて

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(見込)	4-9月計	10月(見込)	11月(見込)	9-11月計
23年度国内(空路)	601,700	564,200	577,300	654,900	628,700	590,000	3,616,800	630,000	600,000	1,820,000
23年度国内(海路)	1,400	11,100	8,400	8,700	3,500	5,000	38,100	5,000	2,000	12,000
23年度海外(空路)	60,300	63,400	68,100	80,000	71,600	80,000	423,400	80,000	80,000	240,000
23年度海外(海路)	6,500	6,600	9,600	34,900	24,800	30,000	112,400	40,000	23,000	93,000
<b>23年度国内・海外合計</b>	<b>669,900</b>	<b>645,300</b>	<b>663,400</b>	<b>778,500</b>	<b>728,600</b>	<b>705,000</b>	<b>4,190,700</b>	<b>755,000</b>	<b>705,000</b>	<b>2,165,000</b>
22年度対比(国内・海外)	163.8%	162.6%	147.9%	128.1%	113.7%	142.5%	139.8%	119.7%	114.6%	124.4%
19年度対比(国内・海外)	78.7%	77.3%	76.4%	80.8%	71.3%	87.1%	78.4%	88.7%	88.2%	88.0%

※海路については沖縄の各港で予定されているクルーズ船が全て寄港した場合を想定して算出



## 1. 入域観光客数9月-11月見通しについて

### (概況)

国内入域については各種イベントが通常開催されることや離島直行便の需要が高いことから、旅行需要は引き続き好調に推移すると見込まれる。  
海外入域については、空路は運航再開している路線(台北、韓国仁川、上海、香港、北京)については予約が堅調に推移している。11月下旬にはシンガポール路線も運航再開予定で、空路入域客数に関してはコロナ前の7割程度の水準まで回復する見込み。海路は、10月以降も引き続き台湾や中国(上海・厦門・香港)などから入港が予定されているが、入域客数はコロナ前の約3割の水準となる見通し。

### (詳細)

- ・9月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の59万人(19年9月対比 100.1%)と見込む。特に宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄路線の需要が高い。  
(海路)神戸港1回、横浜港1回の計2回入港予定。入域客数は0.5万人(19年9月対比 384.6%)となる見通し。  
  
【海外】(空路)8日以降の吉祥航空の上海路線運航再開(デイリー運航)、および28日以降の中国国際航空の北京路線運航再開(木・日週2便)、およびJTAの台湾石垣チャーター便の運航(28日)により、入域客数は8万人(19年9月対比 66.2%)となる見通し。  
(海路)台湾(基隆、高雄)6回、中国(上海)1回の計7回入港予定。入域客数は3万人(19年9月対比 30.6%)となる見通し。
- ・10月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の63万人(19年10月対比 102.4%)と見込む。  
(海路)横浜港などから合計4回入港予定。入域客数は0.5万人(19年10月対比 89.3%)となる見通し。  
  
【海外】(空路)入域客数は8万人(19年10月対比 65.0%)となる見通し。  
(海路)台湾(高雄)2回、中国(上海、厦門、香港)8回、その他3回の合計13回入港予定。  
入域客数は4万人(19年10月対比 37.2%)となる見通し。
- ・11月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の60万人(19年11月対比 100.7%)と見込む。  
(海路)東京港1回、大阪港1回の合計2回入港予定。入域客数は0.2万人(19年11月対比 50.0%)となる見通し。  
  
【海外】(空路)30日よりシンガポール路線(ジェットスター)が復便(週3便)する予定。入域客数は8万人(19年11月対比 81.7%)となる見通し。  
(海路)中国(上海、厦門、香港)11回、その他1回の合計12回入港予定。  
入域客数は2.3万人(19年11月対比 22.7%)となる見通し。